

# 輝く!! 富(む)山の仕事人!!

川上~川下まで、森林・木材に関わる様々な分野で頑張る人を紹介します。

立山山麓森林組合 計画部計画課主任

盛一 純さん

令和5年4月より立山山麓森林組合で計画担当職員として勤められている盛一純さんをご紹介します。



もりいちはじゅん  
盛一純さん(森林組合の前で)

組合長からの熱いラブコールを受け、立山山麓森林組合で働くこととなりました。用地課におられた経験から、土地の境界問題や、権利関係に精通されており、山の所有者・相続予定者の探索や境界について、培つてこられた経験を存分に活かし、組合の計画業務の要となつていらっしゃいます。

## 3 山の仕事について

山や森林に対して、関心が全くなかつた盛一さん。図面上の記録等と現場が一致しない事や、離村等で土地所有者と連絡がつきにくい事、不在地主が多い等、山ならではの問題に直面し、山仕事、林業の難しさを痛感し、「掘つても掘つてもゴールが見えない」とその苦労を表現されています。

ただ、困った事があつても、組合職員、組合理事や集落代表者等、県・市町などの支援を受けながら、ワントームで問題に取り組むことで解決の糸口が見つかるという事が分かり、今後は森林組合の課題をどんどん解決し、森林整備の推進に貢献していくと力強く語つていただきました。



事業予定地の調査風景



アナログ要素が強く残つており、人員が限られた中で、効率よく仕事を進めるために、境界や森林情報を他の職員でも分かりやすく活用できるように整理し、境界等の問題で事業の実施をあきらめていた地域でも森林整備が進むよう貢献していきたいとのことです。

また、森林組合として、森林・林業の果たす役割を住民に普及できるようなイベントや活動を企画、発信し、森林所有者の理解促進及び、森林整備の推進を図つていきたいとの構想もお持ちです。

新しい分野に飛び込んできただった盛一さんの、これから益々のご活躍をご祈念申し上げます。

## 2 今の仕事をするきっかけ

以前は、新川土木センターで用地課の業務に従事していましたが、縁あって、副

## 4 これからやりたい事

時代が動いている中、森林・林業分野はデジタル化が進んできたと言つても、まだ

文責 富山農林振興センター森林整備課林政・普及班